

平成29年度第1回教育研究評議会議事要旨

日時 平成29年4月21日（金）15時29分～16時28分
場所 大学本部2階大会議室
出席者 宮崎学長，滝澤理事，門出理事，後藤理事，和田理事，田中教育学部長，小坂芸術地域デザイン学部長，中村経済学部長，原医学部長，渡工学系研究科長，有馬農学部長，皆本全学教育機構副機構長，米山附属図書館長，山下医学部附属病院長，郭シンクロトン光応用研究センター長，都築評議員，荒木評議員，岩本評議員，藤本評議員，萩原評議員，大島評議員
欠席者 なし
陪席者 佐々木監事

- 学長から，新任評議員の紹介があった。
- 事務局長から，4月1日付け着任した幹部事務職員（部長2名）の紹介があった。
- 前回議事要旨について
学長から，平成28年度第9回教育研究評議会議事要旨（案）を評議員に送付，確認したところ，加除・修正等の意見はなかったため，原案のとおり確定し，ホームページに掲載している旨，報告があった。

学長から，本日の審議事項は1件，報告事項は4件を予定している旨，報告があった。

- 審議事項
 1. 審議事項（非公開）
 2. その他
特になし。
- 報告事項
 1. 平成28年度受託研究等の受入状況について
門出理事から，本件について，平成28年度全体の最終受入れ状況について，受託研究は，83件388,000千円（約70,000千円増），共同研究は，76件208,000千円（約20,000千円増）を受け入れていること等の説明があった。
 2. 国立大学法人佐賀大学の中期目標の提示・中期計画の認可について
企画評価課長から，本件について，平成29年3月29日付け認可の通知があった旨の報告があった。また，認められた変更点についての説明があった。

3. 収益事業の実施に伴う実施主体への一部還元について

財務課長から、本件について、平成29年4月より運用を開始している「学外から大学に収入があった場合、獲得に直接寄与した教員や学生に、得られた収入の一部を教育研究費として還元する。」等、新たに収益獲得事業を行い、収入の一部還元等を求める場合は、申請書を提出し、財務課と申請元で協議・調整を行ったうえ、事業実施の可否・還元の適否・還元率を役員会で決定する旨の説明があった。また、3～5年程度運用し、必要に応じて制度修正すること、事例数や収入金額に応じた評価反映特別経費によるインセンティブ付加も検討すること、収入額の減、減収要因の発生に応じ、収入見合で当初配分した予算の引上げ（減額補正）導入を検討していること等の説明があった。

平成29年度学内予算配分での減額補正とは、休学や退学があった場合、部局予算から減額されるのかといった旨の発言があり、詳細については今後検討予定であるため不明な点は随時相談していただき、決定次第報告する旨の補足説明があった。

4. 全学委員会等の審議状況報告

滝澤理事から、平成28年度第8回及び9回学生委員会の議事要旨について、また、有田キャンパス開校に伴い、今年度中に各学部の学生が有田キャンパス等を訪問し、有田の文化に触れる取り組みをしてほしい旨教務専門委員会で周知したこと等の報告があり、是非実施していただきたい旨の依頼があった。

移動に時間を要するため、学内行事として検討していただきたい旨の発言があり、学長から、各部局によって事情が異なるため、部局全体で工夫して考えていただきたい旨の依頼があった。また、滝澤理事から、木曜日は有田キャンパスでの授業が実施されないため、ある程度の対応が可能であること、移動に時間を要するため1日単位で考えていただきたいこと、約100名の利用が可能であること等補足説明があった。

後藤理事から、平成29年度第1回拡大役員懇談会における議論の概要について報告があった。

門出理事から、研究公正委員会、総合研究戦略会議の審議状況について、報告があった。

5. その他

特になし。

以上